

**2026 年度 東京大学 目白台インターナショナル・ビレッジ
秋季宿舎レジデントアシスタント(宿舎 RA)募集要項**

1. 宿舎概要(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/housing-office/ja/housing/shukusha/mejirodai.html>)

本宿舎は、日本人学生と留学生、ならびに外国人研究者のための混住宿舎であり、互いの所属身分を超えた日常的な国際交流の場となることを目指しています。

敷地内には、水回り設備が全て共用のシェア型住戸全 108 室を擁する女子専用の南棟と、シェア型住戸全 596 室と多様な居室タイプを備えた学生向け独立型住戸全 80 室を擁するリニア棟、ならびに研究者向けの独立型住戸全 73 室を擁する北棟の3棟の宿舎棟があるほか、近隣住民も利用可能なコンビニエンスストアやレストランなども併設されています。

2. 所在地

〒112-0015 東京都文京区目白台三丁目 28 番 6 号

・東京メトロ有楽町線「護国寺駅」下車、徒歩5分

・東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車、徒歩 16 分

3. 諸設備

① 建 物：鉄筋コンクリート 8 階建て(3棟)

② 宿舎居室：

・シェア型住戸 AB タイプ(10 m²):640 室 (うち女子南棟所属住戸:96 室)

・シェア型住戸 CDRS タイプ(15 m²):64 室(うち女子南棟所属住戸:12 室)

・リニア棟・独立型住戸各タイプ:80 室

・北棟・独立型住戸各タイプ:73 室

※宿舎 RA 業務に係る部分は、シェア型住戸 AB タイプと CDRS タイプのみとなります。(うち女子専用「南棟」の配置住戸はシェア B タイプと DS タイプ。)

③ 共用施設

リニア棟 1 階のダイニングホール、スタジオ、シアタールーム、エクササイズルームや、同棟2階にあるチャットルーム、タタミルーム、バンブールーム、ティーセレモニールームなどを、入居者が予約制にてご利用いただけます。

④ その他

敷地内各所に防犯カメラ設置

2025 年 10 月より、宿舎の生活フロアに新たに男女別フロアのほか、性別を問わず入居可能なオールジェンダー居住エリアが整備されました。

原則、各シェアブロックはセキュリティ上、それぞれのブロックの入居者しか入れないようになっており、宿舎入居者同士であっても、お互いのシェアブロック間の行き来が禁じられていますが、オールジェンダー居住エリアの入居者に

関しては、互いのブロック間の行き来が自由となります。同エリアの詳しい情報については、別途ハウジングオフィスのホームページにてご確認ください。

4. 宿舎レジデントアシスタント(宿舎 RA)募集

下記のとおり募集しますので、宿舎 RA への応募を希望する者は、必要書類を添えて提出してください。

1)募集人数

- ・男性フロア宿舎 RA: 5人
- ・女性フロア宿舎 RA: 3人
- ・オールジェンダー居住エリア宿舎 RA: 1人

※宿舎 RA の構成については、別紙「1. 宿舎 RA の構成について」を参照のこと

2)任 期

2026 年 10 月 1 日～2027 年 9 月末まで

* 宿舎 RA の任期は原則委嘱開始日から1年となりますが、次季宿舎 RA の指定任期満了日まで本学在籍を有し、且つ継続就任の意向がある人については、所定の手続きを経ることで、2 年目以降も引き続き宿舎 RA として活躍することもできます。なお、宿舎 RA 委嘱時に署名した誓約書に反し、宿舎 RA の職務内容を怠ったり、宿舎 RA としての品行を著しく欠くような行為や言動が認められた場合には、その委嘱期間の途中であっても、宿舎 RA を解任されることもあります。

3)出願資格

以下の全ての項目に該当する学生で、宿舎内に住まう居住者間の交流ならびにサポートに高い関心を持ち、宿舎 RA 活動を意欲的に行うことができる者。

なお、宿舎 RA への応募時点で本学を休学する予定の学生は申請できません。

- ① 2026 年 10 月から 2027 年 9 月末まで本学に在籍予定の者*
- ② 目白台インターナショナル・ビレッジ(以下、「目白台ビレッジ」という。) リニア棟、南棟の現入居者、或いは 2026 年 10 月から目白台ビレッジに入居可能な者で、且つ 10 月より宿舎 RA 専用居室に住むことを承諾し、2027 年 9 月末までの宿舎 RA 任期を務めることができる者
- ③ 日本語および英語が堪能で、他者と分け隔てなくコミュニケーションを図れる者
- ④ 宿舎 RA の具体的な活動内容を記載した別紙「目白台インターナショナル・ビレッジの宿舎レジデントアシスタント(宿舎 RA)について」を良く読み、理解した者

* 原則、在籍期間については、標準修業年限内の人のみを対象とし、留年等をされた人は宿舎 RA に応募することができません。但し、本学提供プログラムのもと海外留学していた学生で、日本帰国後に大学での在籍期間を延長する人は、宿舎 RA に応募することが可能です。

4) 諸経費

宿舎 RA 採用者は、その委嘱期間に亘って大学指定の宿舎 RA 専用居室にお住まいいただけます。なお、宿舎入居済みの学生であっても、専用居室への移動は必須となります。

<宿舎 RA 専用居室料金> (シェア C/D/R/S タイプ居室、15 m²)

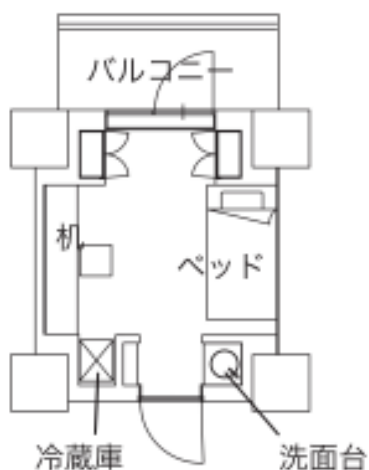
① 入居費	51,800 円 (注1)
② 施設使用料	月額 39,800 円
③ 管理費	月額 12,000 円
④ 光熱水費	月額 15,000 円 (注2)
⑤ マットレスカバー代	シングルベッド用 3,630 円 (注3)

(注1) 宿舎入居後の初月宿舎料請求時にお支払いいただきます。(新規入居/期間更新者のみ) なお、目白台ビレッジの宿舎料は完全前払い制となっているので、新規入居者については、初月入居時に上記②、③、④2カ月分の支払い額を予めご用意いただく必要があります。

(注2) 「光熱水費」には、インターネット料金も含まれます。目白台ビレッジでは、館内設置の Wi-Fi 設備のほか、UTokyo Wi-Fi もご利用いただけます。

(注3) 初月入居時には、居室ベッド用のマットレスカバーをご購入いただきます。その他、寝具レンタルサービス(有料)などもご利用いただけます。寝具レンタルを希望する人は、宿舎入居確定後に事業者から送られてくる案内に従って指定期日までにお申し込みください。(新規入居希望者のみ)

<宿舎 RA 専用居室レイアウト図>



・居室内設備：

机、椅子、クローゼット、ベッド(マットレス付き・寝具なし)、エアコン、洗面台、冷蔵庫、照明器具、カーテン、物干

※各シェアブロックの定員は9~28名で、それぞれのブロックごとにトイレや、シャワー、キッチンの水回り設備と、ランドリーを共用します。

このほか、ブロック内には共用のリビングスペースや、テレビ、掃除機なども備わっています。なお、各宿舎建物内をはじめ、宿舎敷地内での火気の使用は固く禁じられているので、個別に電気ストーブを使用したり、居室内でキャンドルやお香などを焚いたりすることは一切出来ません。

※オールジェンダー居住エリアにおける水回り設備(トイレ、シャワー、ランドリー等)は、性別を問わず全ての入居者が共用することとなります。なお、宿舎1階部分には、誰もが利用可能な完全個室型のトイレが2カ所備わっています。

5)他の寮費減免措置等の継続受給について

宿舎 RA に採用された後も現在受けている宿舎寮費の減免措置等を引き続き受給される場合は、必ず宿舎 RA 応募時にその旨ハウジングオフィスまでご連絡ください。事前連絡いただかなかった場合は、宿舎 RA 採用後の初月寮費の請求時に正しく費用反映されないこともあり得ますので、十分ご注意ください。

なお、宿舎 RA 採用後も現在の寮費に係る減免措置を継続受給できるかどうかについては、各自関係部署に直接ご確認ください。

6)応募手続

- ① 受付期間: 2026年5月11日(月)~2026年6月5日(金) (締切厳守)
- ② 出願方法: 応募書類1と2の PDF 版を受付締切日までに指定受取フォルダへ各自アップロードしてください。
- ③ 応募書類: 応募書類1.「履歴書」
 応募書類2.「志望動機等」
⇒ [応募書類ダウンロード先 URL](#)

※応募書類については、必ず指定様式のものを上記 URL よりダウンロードしてお使いください。また、提出書類に不備があった場合は、宿舎 RA の応募自体が無効となることもありますので、必ず記載内容を良く確認した上で、書類の提出を行ってください。なお、一度提出された書類については、一切返却できませんので、予めご承知おきください。

- ④ 応募書類アップロード先: 下記受取フォルダにアップロードしてください。
[MIV Dorm RA Application](#)

※各自応募書類のアップロード期限は、6/5(金)日本時間 24:00 までとします。
期限を過ぎて書類をアップロードされた方については、選考対象とはなりませんので、ご注意ください。

目白台インターナショナル・ビレッジの宿舎レジデントアシスタント(宿舎 RA)について

本部資産企画課ハウジングオフィス

目白台インターナショナル・ビレッジ(以下、「目白台ビレッジ」という。)の宿舎レジデントアシスタント(以下、「宿舎 RA」という。)は、主として宿舎のシェア型住戸に暮らす留学生、ならびに日本人学生の生活上のサポートを行う目的で設置されます。

目白台ビレッジについては、宿舎の管理運営業務を事業者へ委託しているほか、本学教員で宿舎入居者の各種相談に応じる相談主事の先生3名が居住しているため、宿舎 RA 活動を行う際には、相談主事の先生や宿舎管理運営協力会社、ならびに宿舎を所掌している大学側とも連携を図り、協力し合うことが求められます。

また、宿舎に入居する学生は、それぞれ属性やバックグラウンドが多様であるため、宿舎 RA 業務にあたる人たちは、東京大学が 2022 年 6 月に制定した「[東京大学 ダイバーシティ&インクルージョン宣言](#)」および 2024 年 2 月 6 日策定の「[東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン](#)」を十分に理解しておく必要があります。

・「東京大学 ダイバーシティ&インクルージョン宣言」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/actions/di01.html>

・「東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400232573.pdf>

以下、宿舎 RA の構成と主な活動内容について説明します。

1. 宿舎 RA の役職について

宿舎 RA は、本宿舎の管理運営責任者である資産活用担当理事からの委嘱状発行を以って正式に委任される役職となります。なお、宿舎 RA 活動に係る規則については、別途「目白台インターナショナル・ビレッジ レジデントアシスタント規約」にてご確認ください。

2. 宿舎 RA の構成について

目白台ビレッジの宿舎 RA は、原則 春季採用の宿舎 RA10 名と秋季採用宿舎 RA10 名の計 20 名で構成されます。本募集では 2026 年度秋季宿舎 RA として、男性専用フロア配置の宿舎 RA5 名と女性専用フロア配置の宿舎 RA 3 名(うち 1 名は、学部 1-2 年女子学生居住の南棟へ配置)、ならびにオールジェンダー居住エリア配置の宿舎 RA1 名の採用を行うものです(*)。

本採用決定後は、宿舎 RA 全 20 名で、女子専用棟である南棟のシェア型住戸入居学生(定員:108 名)と、宿舎メイン棟であるリニア棟のシェア型住戸入居学生(定員:596 名)の生活上の

サポートを主に行っていただきますが、業務上の分担等については、宿舎 RA 同士による話し合いによって決めていただいても構いません。また、学業等によりどうしても自分の担当業務が遂行できない場合などは、他の宿舎 RA と協働して業務を行うことが求められます。

(注) 2026 年度秋季募集で採用された RA が次年度も継続して就任する場合は、配置居室が変わる可能性があるため、予めご承知おき下さい。

3. 宿舎 RA に求められる資質について

留学生の多くは日本語が得意ではありません。使用言語が英語になることが多々あります。また、特に海外から渡日したばかりの留学生や、地方出身の日本人学生は、初めての東京暮らしに慣れるためのお手伝いのほか、日々の生活上のサポートや、各種悩み事の相談窓口としての役割を宿舎 RA が担ってくれることを期待しています。

このため、宿舎 RA は分け隔てなく誰とでもコミュニケーションが取れること、また入居者から受けた相談内容により必要と感じたときには、本人の事前承諾を得た上で、いち早く宿舎の相談主事の先生や、学内相談所等の専門窓口へ繋ぐことなどの判断能力が求められます。

その他、宿舎入居者間の交流促進を目的とした寮内イベントの実施や、学生間の交流拡大を促すことを目的とした、学内サークルとのコラボイベントなどについても、宿舎 RA が主体となって企画することとなるため、各種イベント開催に向けた事前打合せや、交渉、ならびに関係先(宿舎相談主事や、本部資産企画課、宿舎管理運営協力会社)との調整作業などをこまめに行っていただく必要があります。

また、宿舎内での緊急時の際のサポートなども適宜お願いすることがありますので、常に連絡が取れる体制を整えておいていただくことが大切です。

4. 宿舎 RA の活動内容について

宿舎 RA の主な活動内容は、以下のとおりです。

① 新規入居者向けのガイダンスの実施

主に年に2回、4月と10月の新規入居学生を対象に、宿舎生活を送る上でのオンラインガイダンスを行っていただきます。

② 入居者からの相談受付 ※参考資料1参照

それぞれの配置先フロアで、入居者からの相談対応を行っていただきます。

* リニア棟の各性別専用フロア(定員:73-113人)には、原則宿舎 RA が2~3名ずつ配置されているので、それぞれ担当決めを行うなどして、入居者相談に応じることとなります。

なお、南棟配置の宿舎 RA は、基本2フロア2ブロック分(定員:計36名)の入居者相談を担当することとなります。(注)

② 月例宿舎 RA ミーティングへの参加 ※参考資料2参照

毎月一回(原則第3土曜日開催)、活動方針や活動内容などを共有するため宿舎 RA ミー

ティングを主催し、参加いただきます。なお、本ミーティングは、原則 各宿舎 RA ともに参加必須のものとなりますので、特段の事情がないかぎり、必ず出席してください。

④ 各種館内イベントの企画・運営

宿舎入居者間の交流を図るイベントのほか、大学内での交友関係をを広げることを目的とした学内サークル等とのコラボイベントなどを企画・開催していただきます。

(2025 年度 実施済イベント)

2025 年 6 月開催: Craft & Game Night! イベント

2025 年 10 月開催: 東大国際寮フェスティバル(地域交流イベント)

2025 年 12 月開催: Holiday Craft & Game Night! イベント

⑤ 入居者からのメール対応

入居者からの相談等に関するメール対応を行っていただきます。

⑥ 入居者と大学・事業者等とのリエゾンの役割

入居者から聴き取った要望や意見などについては、適宜 大学や宿舎管理運営協力会社とも共有していただきます。

⑦ 緊急時のサポート等

緊急時には宿舎相談主事と協力の上、必要なサポート業務を依頼することがあります。

(例) 急病人等の救急搬送時のお手伝い、地震発生時の入居者誘導など。

(注) 宿舎 RA 個人が入居者からの悩み相談全てに対応する必要はありません。

一人では対応しきれないときは、本人の事前了承を得た上で、他の宿舎 RA や、相談主事、宿舎所掌課でもある本部資産企画課ハウジングオフィスにも、遠慮なく協力を仰ぐようにしてください。なお、仮に相談者本人の事前承諾が得られなくても、その人個人を特定し得る情報を伏せた上で、各関係者への相談を行うことはできるので、決して自分一人で物事を抱えこまないようにしてください。

このように、宿舎 RA の活動内容は多岐に亘るため、一見大変そうですが、多くの学生たちとの関わり合いや、宿舎相談主事、大学ならびに宿舎管理運営協力会社とも協働して、各種イベントの企画・開催を行ったり、宿舎内で発生する諸問題のトラブルシューティングに携わったりすることは、普段の学生生活では得られない貴重な経験となります。

目白台ビレッジでは、多様な視点と柔軟な考え方を有し、自らが主体となって積極的に宿舎 RA 活動に取り組んでくれる人を求めています。

参考資料 2 : 宿舎RA各種ミーティング・イメージ図

③ 宿舎RA月例ミーティング

(各RAが輪番制にて月1回開催・全員参加必須)

【主なMTG内容】

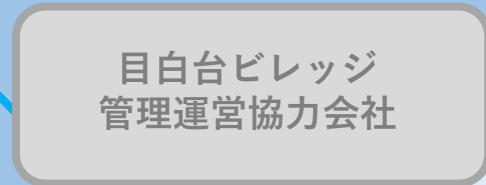
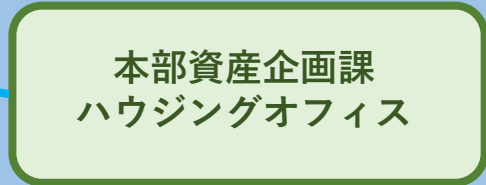
- ・活動報告・ケーススタディ&ノウハウ共有
- ・入居者対応に関する相談・RA活動に関する問題共有や要望等
- ・次月活動予定の共有 ・大学/事業者からのお知らせ等の共有



② 宿舎RA関係者MTG

【主なMTG内容】

- ・イベント関連
- ・住環境等に係る日常的な対応相談ほか



① 宿舎RA随時MTG

【主なMTG内容】

- ・入居者相談対応
- ・共通課題、問題等に関するノウハウ共有



※Chief RA : 7名

Chief RAが主体となって、必要に応じ随時
①宿舎RA随時MTG、②宿舎RA関係者MTG、
を開催
③宿舎RA月例MTGは、各メンバーが輪番制にて月1回開催(原則毎月第3土曜日実施)



各RA : 必要に応じ、①宿舎RA随時MTGや、
②宿舎RA関係者MTGの開催をChief RAへ依頼